

新しい出会いをおそれずに



法学部長
中島 康予
Yasuyo NAKAJIMA

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。そして皆さんがこの日を迎えるまで、皆さんを支え、ともに歩んで来られたすべての方々に心からお祝いを申し上げます。

「グローバル化」が進展する今、多様な価値や利益を追求する人びとの交流を促進したり、そこに生じる紛争や対立を未然に防止したり解決することを通して、自由で平和な社会を築くことが求められています。ところが、価値や利益を異にする「他者」とのあいだに境界線を引き、壁を築くことが世界や社会で進行しています。こうした動きがなぜ、どのようにして生じているのか、変えていく必要はないのか、変えるためにはどのようにしたら良いのか。これらの課題を考え抜く知性を身につけ、鍛え、磨くために中央大学法学部が用意している多様な機会を逃さず、みなさんの世界を広げ豊かなものにしてください。

世界を広げるとは世界を批判的に捉えることを意味します。この作業こそ学問的探究です。学問と聞くと、皆さんの生活や人生と切り離された営みのように感じるかもしれません。しかし、この営みは、皆さんの大学生活そのものと言ってよいでしょう。自分自身にとって都合のよい、わかりやすい世界像を描き、そこに閉じこもるのではなく、あたりまえの世界を疑い、世界の複雑さと向き合い、新たな知見や異なる価値観を抱く人びとの出会いをおそれず、他者と自分自身との関係性を見つめていく営みだからです。

恒久的・普遍的に有効となるような原理を探究し、あるべき社会の姿を描きながらも、現実を真摯に見つめ、置かれている状況で最善の解決策を見出していく、今、そこで、問題に直面している人々に寄り添い、そこを自らの「持ち場」と定め、問題解決に真摯に取り組むこと、このような取り組みに不可欠のリソースの在り処を学び、その用い方を共に考えることが法学部での学びです。皆さん一人一人が、中央大学法学部を自分自身の「居場所」と定め、新しい出会いを通して成長し、未来の「持ち場」で輝くその日まで、私たちは、皆さんの志と夢を応援します。



経済学部長
篠原 正博
Masahiro SHINOHARA

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。中央大学経済学部教職員一同、皆さんのご入学を心から歓迎いたします。皆さんは、現在、受験勉強から解放されてほっとされていることでしょうか。大学4年間をどのように過ごすか、あれこれ考えるだけでも期待で胸が膨らみますよね。これから大いに大学生活を楽しんでください。

ところで、皆さんは、毎年マスコミで話題になるノーベル賞のことは当然ご存じでしょう。同賞は、スウェーデンの企業家アルフレッド・ノーベルの遺言に基づき19世紀末に創設されました。顕著な功績をあげた人物に対して授与される世界的に名誉ある賞ですが、「物理学」、「化学」、「生理学」、「医学」、「文学」、「平和」などととも、「経済学」は社会科学の中で唯一ノーベル賞の対象となっています。経済学は論理的かつ体系的に構築された学問であり、物理学が「自然科学の王様」であるのに対し、「社会科学の女王」と呼ばれています。

経済学は世界共通言語(世界共通の学問)です。グローバル化が進んだ今日、ビジネスマン、公務員、政治家にとっても、経済オンチでは世界で戦うことが困難になってきています。現実の経済現象を論理的に読み解く能力が求められます。

国内外で発生している経済問題は、経済理論、歴史、国際比較などのさまざまな側面からアプローチすることが可能です。いずれのアプローチからでも良いので、経済問題に対して4年間である程度の政策提言を行えることを目指しましょう。他人の意見の請け売りではなく、自分なりの視点から発言できる、そういう人になって欲しいと思います。

将来の日本いや世界を背負う可能性を秘めた皆さんが、中央大学経済学部で有意義な4年間を過ごされることを切に願っております。

経済学は世界共通言語